

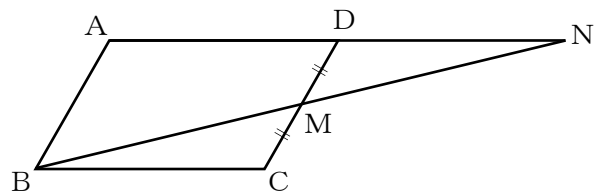
中学校2年生 *単元確認テスト* 3学期①		平行四辺形	
組番	名前		/10

1 四角形は次の①から⑤のどれかが成り立てば平行四辺形である。()にあてはまる語句を下の語群から選んで書き入れなさい。(1点×4)

- ① 2組の対辺がそれぞれ()。……定義
- ② 2組の対辺がそれぞれ等しい。
- ③ 2組の()がそれぞれ等しい。
- ④ ()がそれぞれの中点で交わる。
- ⑤ 1組の対辺が平行でその()。

対辺	対角	平行である	垂直である
対角線	長さが等しい	角度が等しい	

2 平行四辺形ABCDの辺CDの中点をMとし、ADの延長と直線BMとの交点をNとする。
 $AB = 4\text{ cm}$ 、 $AD = 6\text{ cm}$ のとき、次の線分の長さを求めなさい。(1点×2)



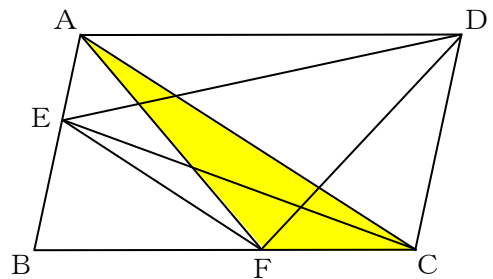
(1) 線分DM

cm

(2) 線分DN

cm

3 右の図で、四角形ABCDは平行四辺形で、 $AC \parallel EF$ となるように点E、Fを辺AB、BC上にとる。このとき $\triangle AFC$ と面積の等しい三角形は $\triangle DFC$ の他にあと2つある。その三角形を求めなさい。(1点×2)



と

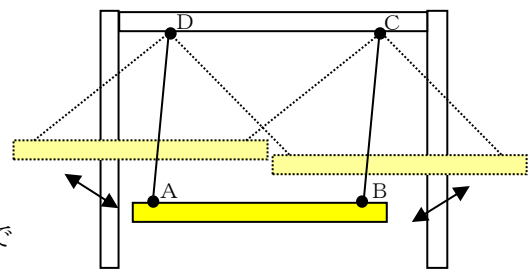
4 下の図は左右にゆれる遊具を正面から見た図である。この遊具は左右にゆれても座る部分(AB)がDCと平行になるように作られている。これについて説明した次の文の()にあてはまる言葉や記号を書き入れなさい。(1点×2)

この遊具は、 $AB = DC$ 、 AD () BC となるように作ってあり、四角形ABCDは

()

平行四辺形となる。

したがって、 $AB \parallel DC$ である。



中学校2年生 *単元確認テスト* 3学期②		確率	
組 番	名 前		/10

1 袋の中に、赤玉が3つ、青玉が5つ、白玉が2つ入っている。この袋から玉を1個取り出すとき、次の確率を求めなさい。(1点×2)

(1) 取り出した玉が、赤玉になる確率

(2) 取り出した玉が、青玉になる確率

2 大小2つのさいころを投げるとき、次の確率を求めなさい。(1点×3)

(1) 出る目が同じになる確率

(2) 出る目の和が8になる確率

(3) 出る目の積が奇数になる確率

3 1、2、3、4、5の数字を1つずつ記入した5枚のカードがある。このカードをよくきって1枚ずつ2回ひき、ひいた順にカードを並べて、2けたの整数をつくる。このとき、次の確率を求めなさい。(1点×3)

(1) できる整数の十の位が1になる確率

(2) できる整数が偶数になる確率

(3) できる整数が53以上になる確率

4 3枚の100円硬貨を同時に投げるとき、次の確率を求めなさい。(1点×2)

(1) 2枚が表で1枚が裏になる確率

(2) 少なくとも1枚は裏になる確率

中学校2年生 *単元確認テスト* 3学期③		データの比較	
組番	名前		/10

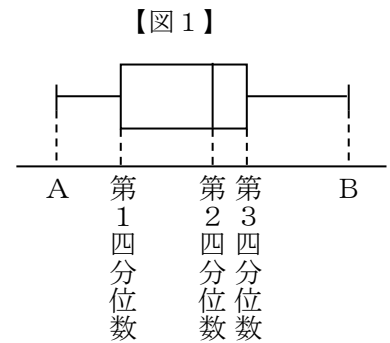
1 次の(1)～(4)の空らんには当てはまる語句を、あとの から選び、それぞれ書きなさい。(1点×6)

(1) 複数のデータを比較するとき、【図1】のような図を用いることがある。この図のことを () という。

(2) データを小さい方から順に並べ、4等分したときの3つの区切りの値を () という。

(3) 【図1】のAはデータの ()、Bは () である。第2四分位数は、データの () である。

(4) 【図1】の箱の部分には、すべてのデータのうち、真ん中に集まる約 () のデータが含まれている。箱の横の長さは、第3四分位数から第1四分位数を引いた値で求められる。この値を四分位範囲という。

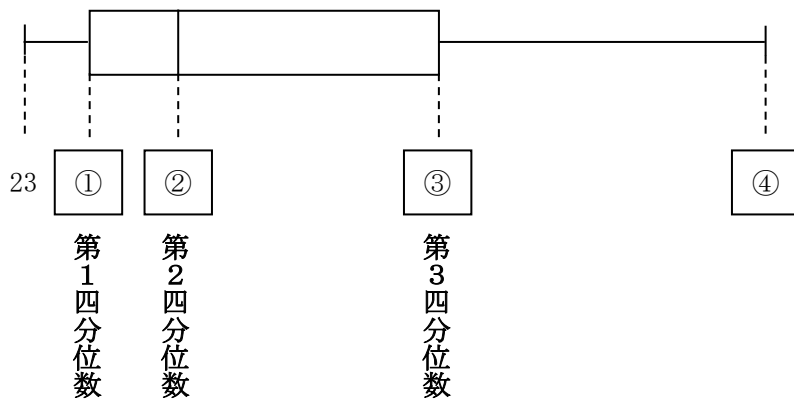


最小値 箱ひげ図 最大値 半数 四分位数 中央値

2 の九つの値を一まとまりのデータとして【図2】のように表した。①～④の空らんには当てはまる数を解答らんに書きなさい。(1点×4)

23 24 25 26 26 29 30 34 39

【図2】



① ② ③ ④